

## 台東区配偶者暴力相談支援センターにおける相談状況

### 1 配偶者暴力相談支援センターについて

#### (1) 沿革

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の平成19年改正により、区市町村における基本計画策定及び配偶者暴力相談支援センター機能整備が努力義務とされ、DV被害者の自立支援に対する関係機関の連携強化など、被害者の立場に立ち、より実効性のある対策が求められることとなった。

#### (2) 台東区における機能整備

平成27年策定の「台東区立男女平等推進行動計画」の中に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策実施に関する基本計画」を位置づけた。また平成27年11月に配偶者暴力相談支援センター機能を整備し、DV被害者支援の総合的な支援に取り組んでいる。

令和3年度からDV専門相談員を2名から3名に増員し、同行支援やアウトリーチにも対応し、相談者の状況に応じて寄り添った支援を行えるよう体制を整備した。

【別紙1】 関係機関とのネットワーク図 参照

#### (3) 台東区配偶者暴力相談支援センターの体制

DV専門相談員（会計年度任用職員）3名を配置 他常勤職員（事務）1名

相談実施 月曜日から土曜日（祝日実施） 9：00－17：00

ただし第1・3・5月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始を除く

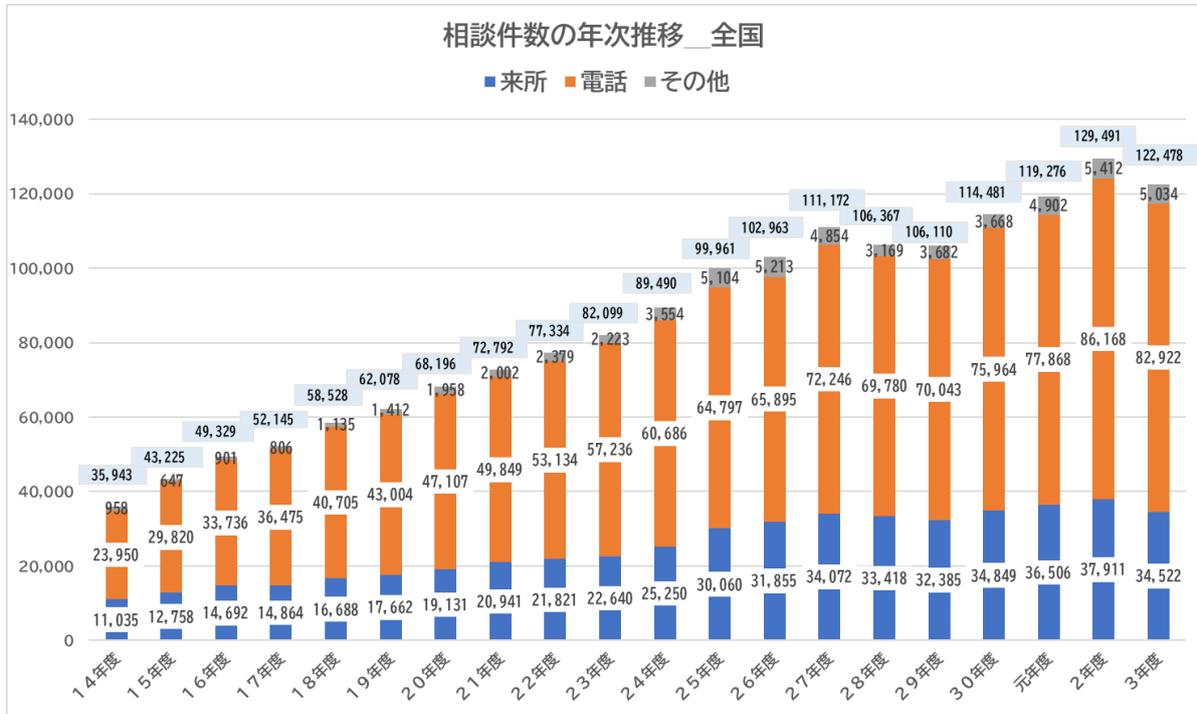
#### (4) 東京都及び特別区における整備状況

- ・東京都の配偶者暴力相談支援センター（2か所）  
東京都女性相談センター・東京ウィメンズプラザ
- ・特別区（令和5年11月現在）  
20区で機能を整備している。

## 2 配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数

### (1) 全国の相談件数

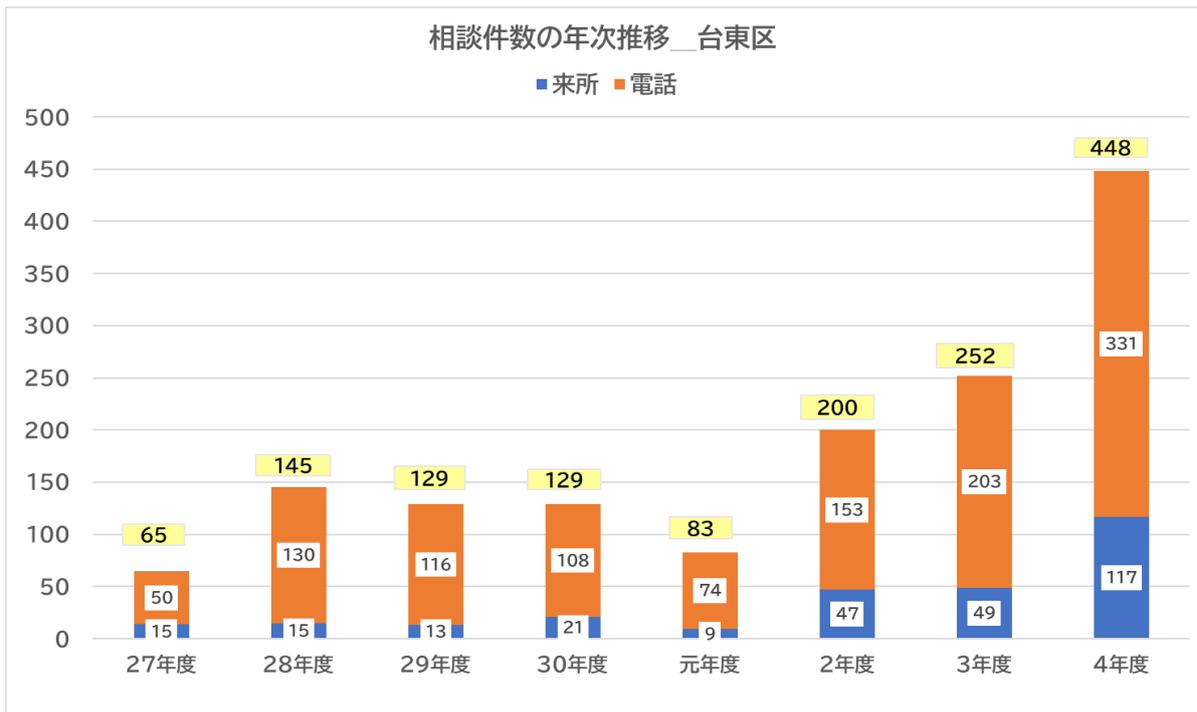
配偶者暴力相談支援センターへの相談件数は、令和2年度に過去最高となり高水準で推移している。 ※内閣府「DV相談プラス」の相談件数は含まず配偶者暴力相談支援センターの件数のみ



(出典)内閣府:配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数等(R4.11)

### (2) 台東区の相談件数

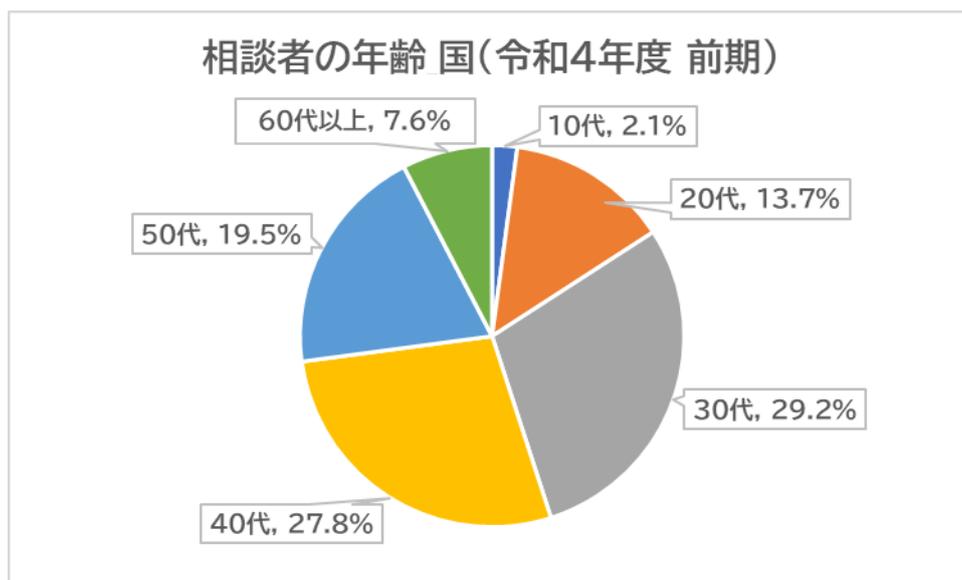
令和2年度以降増加傾向にあり、2年度から3年度は約1.3倍、3年度から4年度は約1.8倍と著しい増加となっている。



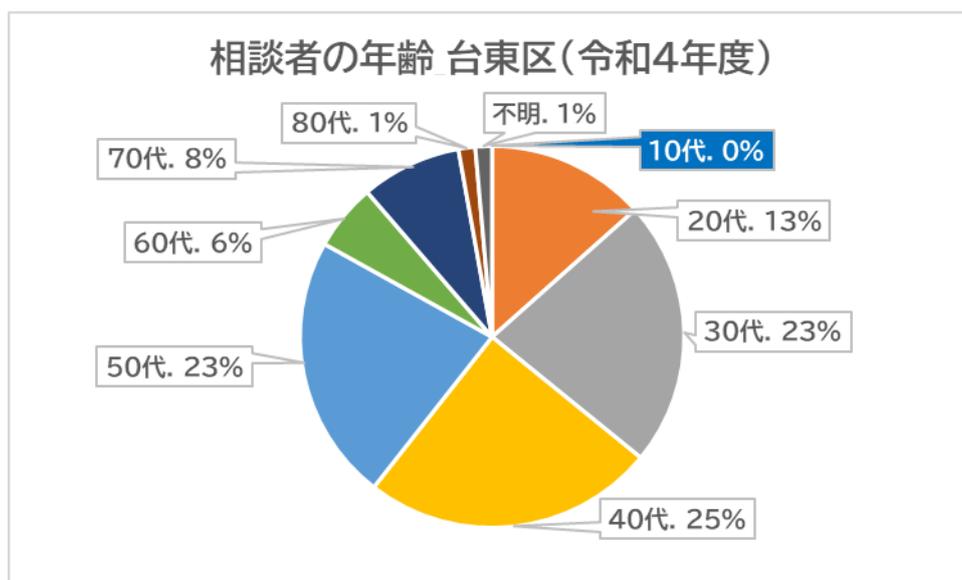
### 3 相談者の属性等

#### (1) 年齢

全国では30代・40代が半数以上（57%）を占めている。台東区においては30代・40代は半数以下（48%）。10代・20代は、全国の15.8%に対し台東区は13%と若年層からの相談が少ない。一方、60代以上は、全国の7.6%に対し、台東区は15%と高齢者からの相談が多い結果となっている。



出典: 令和4年度前期「DV相談+(プラス)事業における相談支援の分析に係る調査研究事業」報告書



## (2) 相談方法・相談者の性別・加害者との関係\_台東区 (令和4年度)

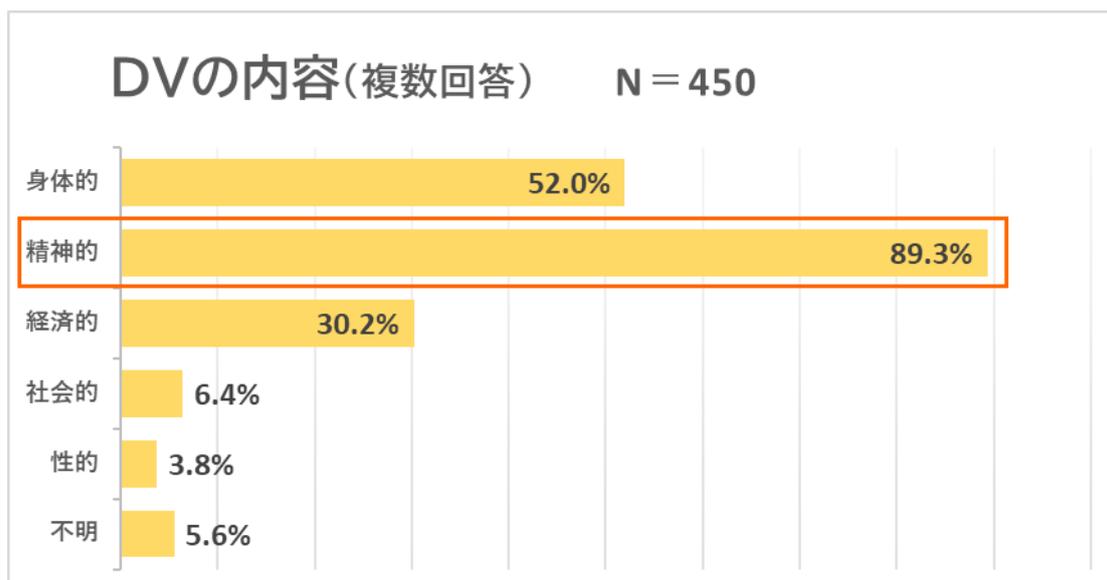
相談件数全体でみると、女性からの相談が98.3%とほとんどで、国においても同様の傾向となっている。電話相談が7割(71.1%)と多い。相談方法の「その他」は、同行支援やアウトリーチによる相談である。

	実人員				相談件数											
	合計				合計 (A)				合計 (B)				加害者との関係			
		女性	男性	その他	(A)	女性	男性	その他	(B)	配偶者			離婚済	生活の本拠を共にする		
										届出あり	届出なし	届出有無不明		交際相手	元交際相手	
来 所	51	50	1	0	104	102	2	0	104	84	5	0	9	0	6	
電 話	81	78	3	0	286	281	5	0	286	261	6	0	7	3	9	
その他※	10	10	0	0	12	12	0	0	12	10	0	0	1	0	1	
合 計	142	138	4	0	402	395	7	0	402	355	11	0	17	3	16	
割 合		97.2%	2.8%	0.0%		98.3%	1.7%	0.0%		88.3%	2.7%	0.0%	4.2%	0.8%	4.0%	

## 4 DV被の相談内容\_台東区 (平成30年度—令和4年度 5か年)

### (1) DVの相談内容(5か年)

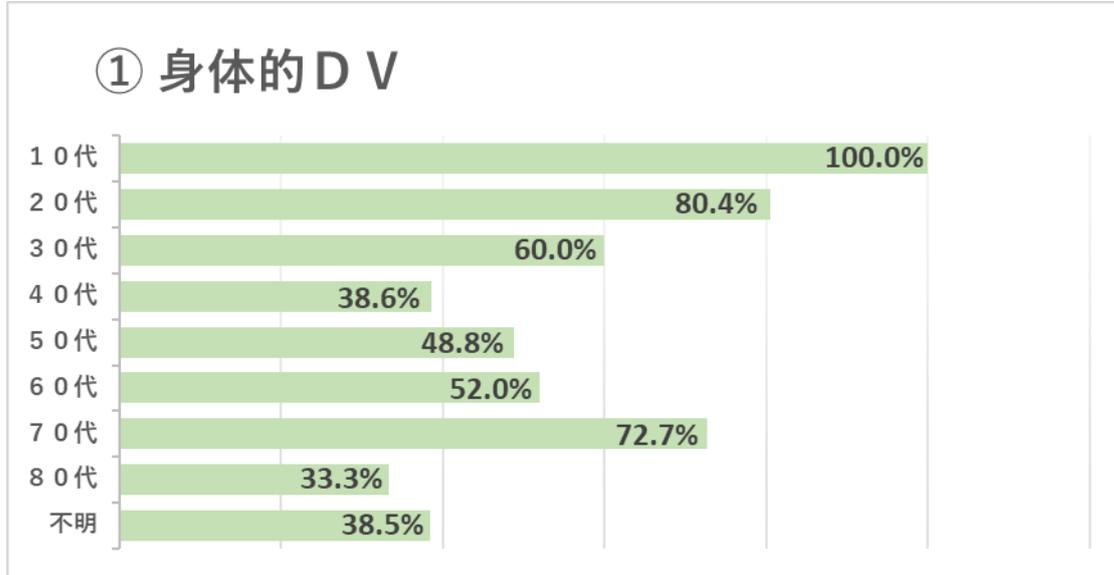
相談内容の約9割が精神的DVを含んだ内容となっている。5割以上が身体的DV、約3割が経済的DVを含んだ相談内容となっている。



## (2) 年代別のDVの相談内容（5か年）

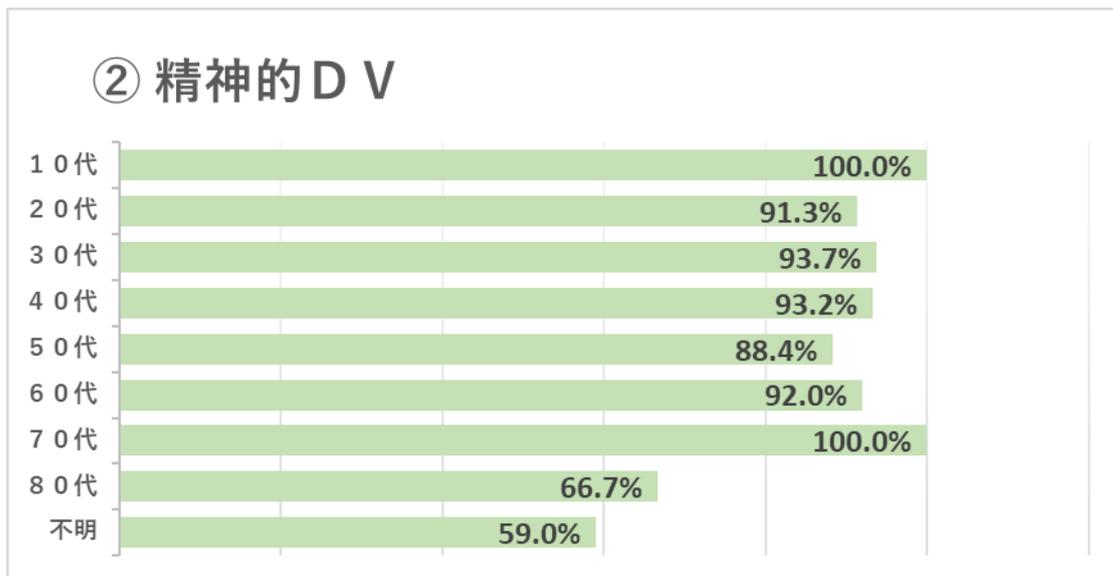
### ① 身体的DV

多くの年代で、相談内容の5割以上が身体的DVを含んだ内容となっている。



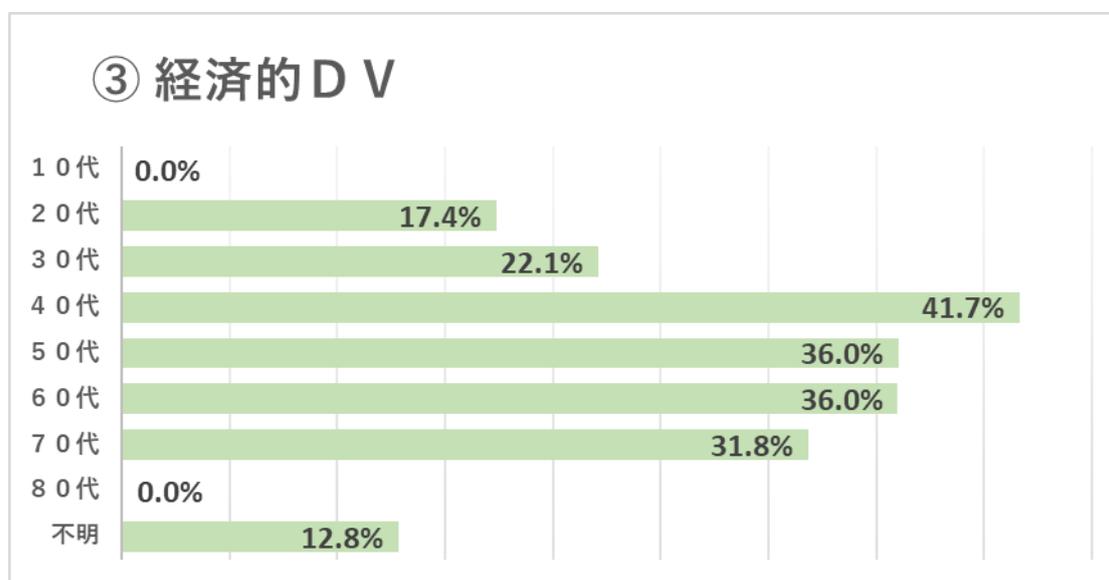
### ② 精神的DV

ほぼ全ての年代で、相談内容の約9割が身体的DVを含んだ内容となっている。

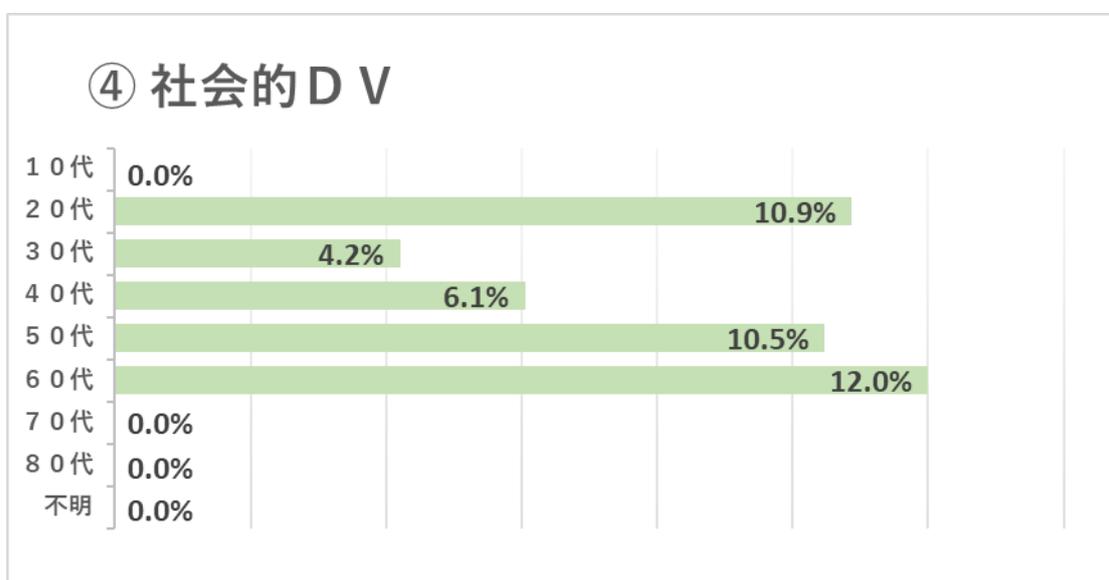


### ③ 経済的DV

40代以上の相談において、経済的DVの相談が多くみられる。



### ④ 社会的DV



## ⑤ 性的DV

